

特 集／あさひ保育園・子育て支援センターあさひオープン
平成22年度のまちづくりと予算
町政スポット／町の案内看板をリニューアル、ため池百選に
「馬神ため池と大谷の郷」が選定 ほか
ま ち の 話 題／2010日本カヌーフリースタイル選手権大会、
りんご温泉がリニューアルオープン ほか

新しいお友達もたくさんできたよ！

統合した保育園で伸び伸びと遊ぶ園児たち

（4月6日／あさひ保育園）

広報

あさひまち

2010年4月号

No. 641

町民待望の 子育て支援拠点施設

さゆり、ふたば、わかばの3保育園を統合した町民待望の子育て支援拠点施設「あさひ保育園」「子育て支援センターあさひ」が4月3日オープンし、保育園には0歳児から5歳児までの乳幼児合計176人が入園しました。

爽快な青空の下、施設入口前で行われたセレモニーには、入園児や保護者、そして町関係者など約510人が出席。町長より開園が高らかに宣言され、記念のテープカットが行われました。その後、子どもたちのメッセージをのせた風船が空に舞い上がると、大きな歓声がわき起こり、出席者全員で開園を祝いました。

続いて遊戯場に場所を移し、入園式を開催。保育士が一人一人を呼名すると、園児は「はいっ」と元気に応じ、新たな保育園での生活をスタートさせました。

一方、子育て支援センターもこの日以降、主に保育園入園前の乳幼児



ともだちいっぱい！ゆめいっぱい！
センターあさひ オープン

設計コンセプトおよび施設概要

施設内部は木材をふんだんに活用しており、温かみと柔らかさのある空間です。保育室・ふれあいモール・遊戯室・テラス・屋外遊戯場は連続性を持たせて配置し、子育て支援センターには、様々な遊びができる「りんごホール」や保護者のための喫茶コーナーも設けています。

- ▼構 造 鉄骨平屋建 ▼敷地面積 約11,143㎡
- ▼延床面積 約1,986㎡ ▼設 備 オール電化、床暖房
- ▼総事業費 約7億7,000万円（本体工事費：約5億9,300万円）

あさひ保育園概要

- ▼定 員 200人 0歳児（6か月から）5人、
1歳児12人、2歳児18人、3・4・5歳児各55人
- ▼通常保育 午前8時30分～午後4時
- ▼延長保育 【早朝】 午前7時～午前8時30分
【延長】 午後4時～午後7時
- ▼その他保育 土曜日保育、一時保育、短期保育
- ▼給 食 月曜日～金曜日、地産地消の自園給食
- ▼通園バス 無料
- ▼休 園 日 日曜祝祭日、12月29日～1月3日
- ▼自由登園日 年度末年度初、8月13日～8月16日、職員研修日

子育て支援センターあさひ概要

子育て仲間との出会いの場、子育ての学びの場の提供、ファミリーサポート会員による一時預かり事業等を行います。お子さんを連れて気軽に遊びに来てください。

- ▼対 象 者 子育て中の方とその児童。遊び場の利用はおおむね小学校低学年まで。町外の方も可。
- ▼開館時間 午前9時30分～午後3時30分
- ▼休 館 日 年末年始及び第3日曜日、毎週木曜日
- ▼利 用 料 無料（一時預かり事業は有料）
- ▼飲 食 可（エリアを設けています）

町 町の未来を担う子どもたち。この新しい施設でたくさんのお友達といっぱい遊び、学び、そしてたくましく成長してくれることでしょう。

とその家族などが利用し、連日にぎわっています。4月9日までの一週間ににおける1日平均の利用者は約60人となっており、利用登録を行った子どもの数も、すでに100人を超えています。

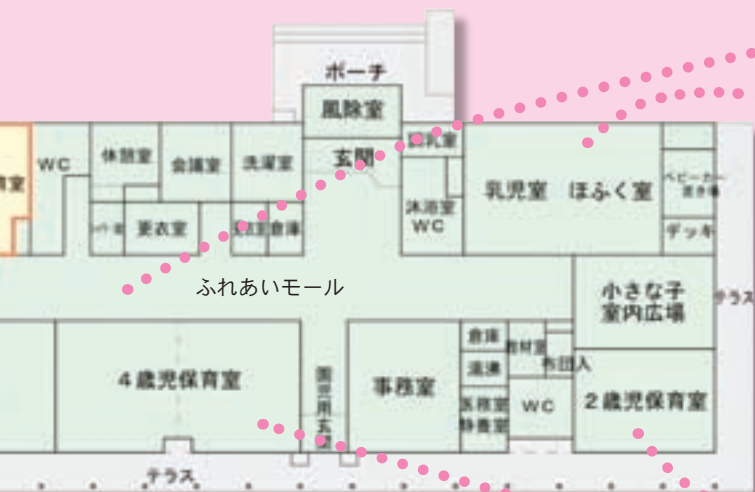


特集

あさひ保育園・子育て支援

しく たくましく 部を紹介

(保育園)



長くて広い「ふれあいモール（廊下）」も遊びの場です



3歳児未満児保育の人数も拡大され、0歳から2歳までの乳幼児が楽しくすごしています



トイレもカラフル！



「全館床暖房だから、床に座ってもあったかいよ！」

保育園全体が一体感のある建物で、自由に遊べる雰囲気がいいですね。支援センターもとても充実していて、雨の日や冬場など、これまで町外の施設を利用していた方も、安心して利用できることと思います。

4人の子どもがいますが、第2子以降の保育料定額化（月5,000円）も、とてもありがたいです。



【新宿】佐藤恵理香さん、慧典くん（5歳）、羽華ちゃん（1歳）

開放感のある明るい建物ですね。子どもたちが自由に、そして元気に遊べることと思います。

3歳未満児保育の人数が拡大されたこともあり、4月から1歳の次男をお願いしています。産後、仕事復帰したい方にとっては心強いと思います。

保育園までの距離が長くなりましたが、あまり負担には感じませんね。



【舟渡】遠藤睦美さん、美咲樹ちゃん（3歳）、大樹くん（1歳）

育て！元気に 楽 施設の内



りんごホールの大型遊具 雨や冬場も元気に遊べます



子育て支援センターは親子のふれ合いの場、
子育ての学びの場です

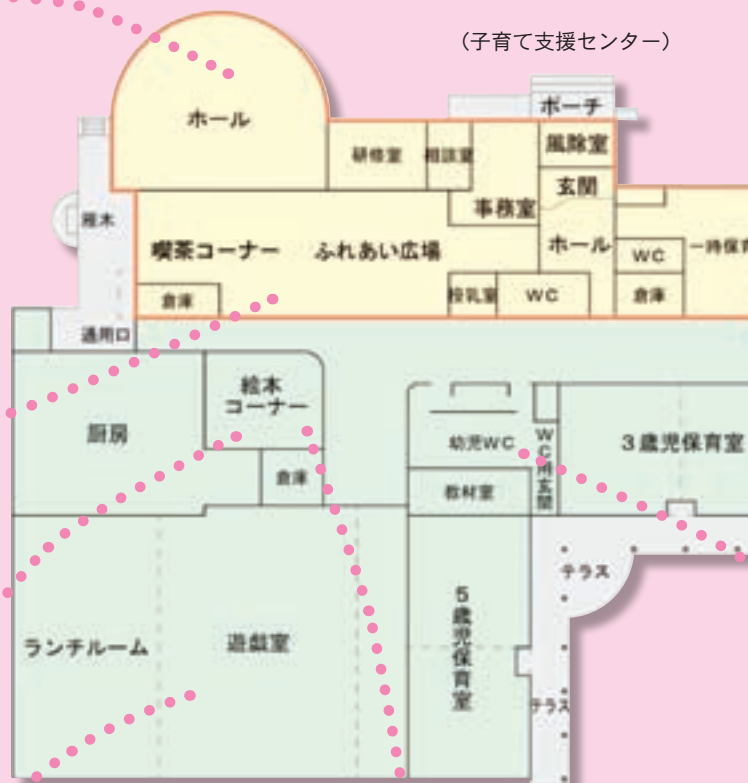


「絵本コーナーも楽しいよ」



天井が高く、開放感のある遊戯室

(子育て支援センター)



絵本コーナーの一角からは
給食を作っている様子を見ることができます

これまでは近くにあまり子どもを遊ばせる場所がありませんでしたが、子育て支援センターは遊具、おもちゃが充実していて、楽しく遊ぶことができます。

家にいると一人で遊ぶしかありませんが、ここでは同年代の子どもや保育園児と接することができます。これからも利用したいですね。



【西町】
鈴木恭子さん
類くん(1歳)

別れは、新たな出会いの始まり

町内3保育園 卒園式・閉園式

3月28日、町内3保育園で一斉に卒園式と閉園式が行われました。

3保育園の歴史は昭和30年代までさかのぼります。この時代、中部地区には「福昌寺保育園（園長 鈴木秀芳福昌寺住職）」が、西部、北部地区には春と秋の農繁期のみ子どもを預かる「季節保育所」がそれぞれ開設されました。

その後、昭和44年、3施設が一斉に認可保育所として町立の施設となり、園舎も昭和47年の北部保育所を皮切りに、50年には中部保育所が、54年には西部保育所がそれぞれ整備されました。各地域で通園バスの運行が開始され、名称が現在の「さゆり」「ふたば」「わかば」に

なったのは昭和54年。認可保育所となった昭和44年以降、さゆり保育園から2288人、ふたば保育園から1123人、わかば保育園からは1037人の卒園児を送り出し、約40年の長きにわたり、地域の方々とともに歩んできました。

当日は、3保育園が開式時間をずらして開催。卒園式で最後の卒園児を送り出したあと行われた閉園式では、それぞれの園で町長が式辞を述べ、最後を締めくくりました。

出席した保護者の中には各園の卒園者も多く、園児のみならず、多くの保護者が万感の思いで、思い出深い園舎へ別れを告げました。

ありがとう さゆり・わかば・ふたば保育園 卒園式・閉園式アルバム

さゆり保育園

ふたば保育園

わかば保育園



それぞれの園舎で歌う歌もこれが最後—園児みんなで力いっぱい歌いました



園長先生から贈られる卒園証書—園児一人ひとりがしっかりと目を見て受け取り・・・



そのまま家族のもとへ歩み寄って卒園証書を伝達—「ありがとう」言葉で感謝の気持ちを伝えました



閉園式のあとには今までお世話になった先生や地域の方々、年少のお友達に別れを告げました



最後に子どもたちを長年見守ってきた看板が外され、それぞれの歴史に幕が下ろされました

「産業力」

を中心とした施策で
町を元気に



平成 22 年度施政方針



私は町長就任以来、「人口流出に歯止めをかけよう、少しでも住みやすい町をつくりたい」という思いで町政運営にあたってきました。

平成18年度には、「定住促進ビジョン」を、また、平成19年度には、新しい町づくりの道標として、「地域力」「産業力」「定住力」の3つの力を柱とした「第5次朝日町総合発展計画」を策定し、その具現化に力を注いできたところであります。

さて、一昨年の世界的金融危機に端を発した経済・雇用環境の悪化は、依然として朝日町にも大きな影を落としています。昨今は最悪期を脱し、持ち直しの兆しもあると言われていますが、いまだ先行き不透明な状況にあります。この厳しい環境を乗り越えるためには、町に住む人、働く人全ての知恵と力を結集しなければなりません。

そのためには、町民の皆様、そして行政が互いに信頼という絆でつながり、ともに行動をおこしていくことが重要です。このことを基本にし、町政運営を行っていきます。

私はこれまで「子育て環境の充実」という視点から、「定住力」の充実を図るため、社会基盤の整備を中心に進めてまいりました。しかし、町が元気になるためには、「産業力」の充実が欠かせません。朝日町が持つ様々な資源を活かし、農業の振興、起業化、そして総合産業という視点からの交流観光にいかしていくことが今後重要となると考えております。さらに、町の礎は人材という「地域力」です。この力を高めることなしには、町づくりは進みません。平成22年度は、こうした視点を大切に、町政運営にあたります。

激変する現代社会にあつては、環境の変化を先取りし、新たな発想や考えをいち早く取り込み、社会を自らの手で変えていくという姿勢が大切です。町が直面する様々な課題を真正面から受け止め、そして果敢に体当たりして行く。そんな気合いの入った一年を、町民の皆様とともに進んでまいります。

※本文は町長が町議会3月定例会において、今年度の町政運営の基本方針について所信を示した「施政方針演説」の要旨をまとめたものです。

直面する課題へ 果敢に体当たり

第5次朝日町総合発展計画の確実な推進に向けて

平成22年度一般会計当初予算

41億2,000万円

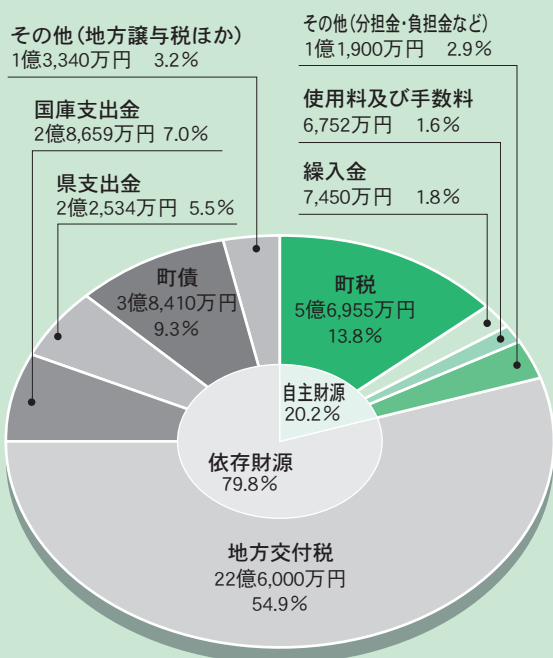
平成22年度の当初予算が決まりました。

一般会計の総額は41億2,000万円で、子育て支援拠点施設建設関係に多額の予算を計上していた昨年度に比べると11.3%、5億2,500万円減少しました。

限られた財源を効率的に配分し、第5次朝日町総合発展計画の確実な推進とあわせて、現下の経済危機にあたって、町民生活と地域経済を守るため、重点事業に集中投入させた予算編成となりました。

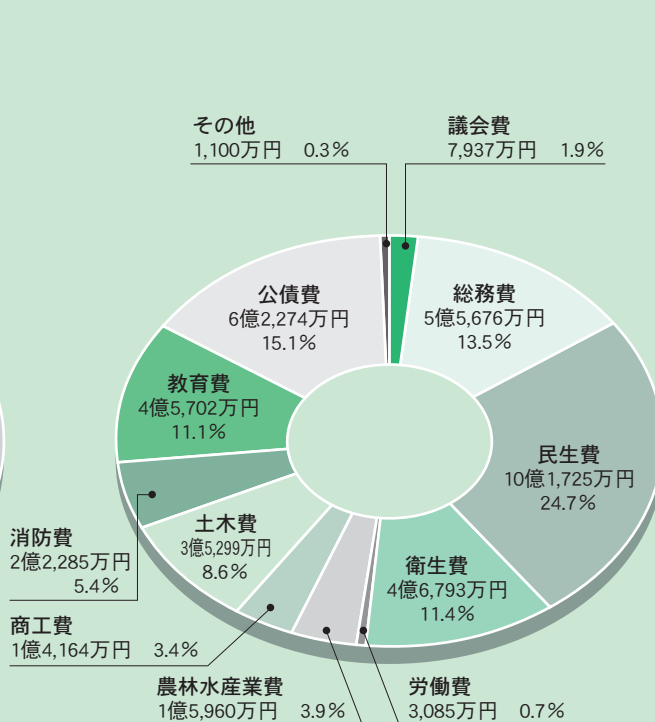
歳入

41億2,000万円



歳出

41億2,000万円



限りある予算を有効活用 平成22年度の主要な施策

◎デマンドタクシー“あいのり号”実証運行事業

1,394万円



4月1日より、交通空白地域の解消や高齢者が安心して通院や買い物ができるよう、「デマンドタクシー“あいのり号”」を運行します。

◎持家住宅支援事業 600万円

自ら居住する持家住宅の50万円以上の建設工事（新・増・改築等）に対し、助成金を交付（町内建設業者との契約に限る。費用の10%以内、50万円を限度）。また、町内に建築された木造住宅（新・増・改築等）に対し、助成金を交付（30万円以上の国内産木材製品を、町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施工のものに限る。国内産木材製品額の40%以内、30万円を限度）。

◎商工業活性化対策事業 647万円

商工業者の経営力の向上と商店街の活性化を図るため、商工会や事業振興協議会が主体で取り組む事業に対し補助金を交付（町商工会指導事業、産業まつり、商業活性化対策事業、事業振興協議会補助）。

◎地域提案型交付金事業 1,350万円

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす住民自治活動を支援します（地域提案型交付金、雪害対策事業）。

◎高品質りんご生産緊急対策事業 789万円

樹木の高齢化と品種の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」のブランド力を高めるため、高接ぎ・ワイ化改植及び苗木購入による優良品種（シナノスイート、秋陽、ファーストレディ）への更新を支援。

◎未就学児医療費完全無料化事業・小学生入院医療費完全無料化事業 1,220万円

子育て支援策として、未就学児の医療費・小学生の入院医療費を完全無料化。

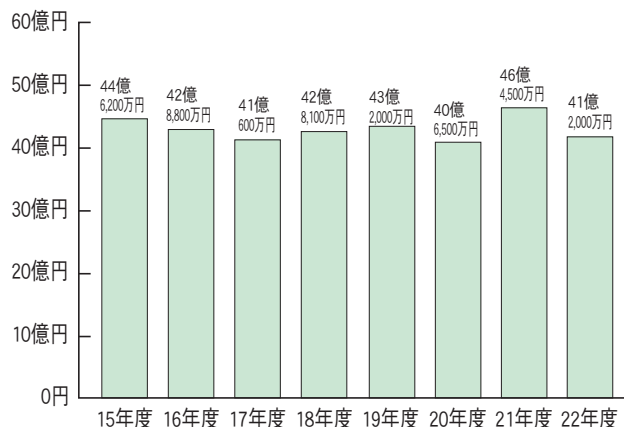
◎産業創造推進事業 1,000万円

地域資源を活かした産業の創出を支援（町産業創造推進機構への補助、新事業経営安定対策補助）。

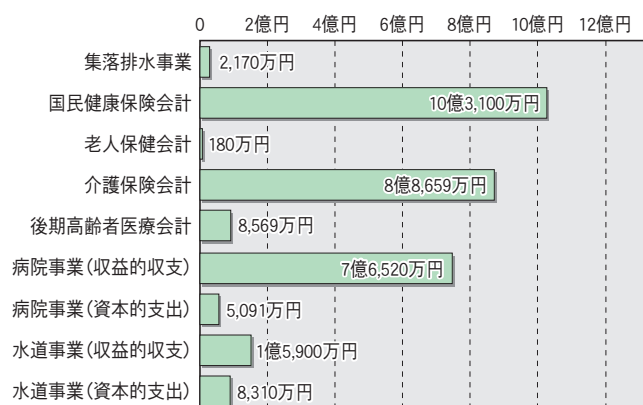
◎観光振興事業 650万円

町の魅力を発信し、観光客を受け入れる体制を整備（観光振興推進員配置、町観光協会負担金・補助金）。

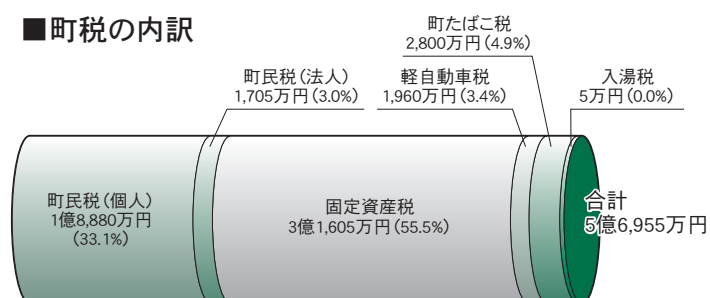
■一般会計当初予算の推移



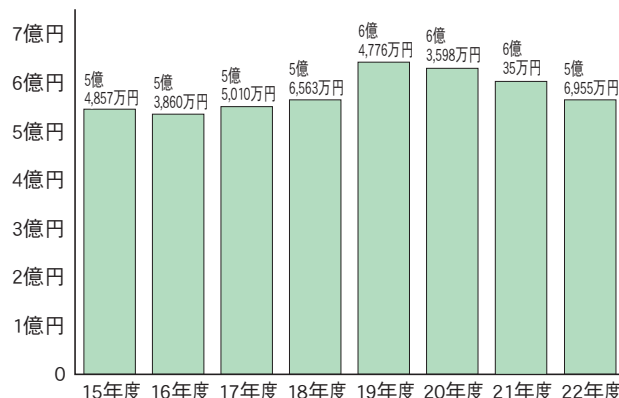
■特別会計・企業会計当初予算



■町税の内訳



■町税当初予算の推移



町職員人事

4月1日付で町職員の人事異動が行われました。「第5次朝日町総合発展計画」の基本目標に掲げた「この町に住みたい、ずっと住み続けたい、そんな魅力ある朝日町」の実現に向け、各分野ごとに職員が配置されています。

今年度は新たな課・係の設置や統廃合といった組織改編はなく、職員の異動も例年と比較して小さなものとなっています。新規採用は4人で、職員数は前年度比増減なしの162人です。

三役



町長
鈴木 浩幸



副町長
富樫 清志



教育長
安藤 昭郎

総務課(12人)

☎(67) 2111



課長
熊谷 貞則

課長補佐 清野 雅英

課長補佐 大谷 武一

課長補佐 西田 和之

●行革推進係

係長(兼) 清野 雅英

●庶務係

係長 高取のぶ子

主任 菊地早百合

主事 長岡 昭博

政策推進課(8人)

☎(67) 2112



課長
清野 直治

課長補佐 橋岡 友則

課長補佐 白田 久寿

●定住・戦略推進係

係長 工藤 和久

●地域情報係

係長(兼) 橋岡 友則

主任 海野 裕喜

主事 佐久間 淳

選挙管理委員会

☎(67) 2111

書記長(兼) 熊谷 貞則

書記(兼) 清野 雅英

書記(兼) 高取のぶ子

書記(兼) 菊地早百合

書記(兼) 長岡 昭博

●県地域政策課へ派遣

主任 阿部 正樹

●防災係(危機管理担当)

係長(兼) 大谷 武一

主任 伊藤 雅樹

●財政係(行政評価担当)

係長 阿部 正文

主任 小野 康仁

●管財係

係長(兼) 西田 和之

業務員 近衛美智永

業務員 清野 典子

税務町民課(12人)

戸籍年金 ☎(67) 2119
それ以外 ☎(67) 2107



課長
長岡 信之

課長補佐 井上智恵美

課長補佐 柴田 智子

主査 菊地 洋一

●税務係

係長(兼) 井上智恵美

主任 鈴木 高敏

主任 佐々木直美

主任 伊藤 淳

主任 近衛 智之

主事 落合 朝巳

●戸籍年金係(総合窓口)

係長(兼) 柴田 智子

主事 五十嵐真理子

主事 猪倉 薫

●生活環境係

係長 畑 英俊

健康福祉課(18人)

健康包括 ☎(67) 2116
福祉保健 ☎(67) 2156

子育て ☎(67) 2132

課長 阿部 則雄

●地域振興係

係長 阿部 忠之

主事 佐竹 佑斗

●福祉係

係長 小関 典子

副主査 伊藤 博美

●子育て支援係

主任 阿部 祐子

係長(兼) 佐竹 長司

主任 藤沢 美子

業務員 熊谷 由香

●健康推進係

主査兼係長 松田 勝美

副主査(保健師) 加藤 静代

副主査(保健師) 佐竹 文子

主任(保健師) 太田 律

保健師 木村 朋恵

管理栄養士 古瀬久美子

●地域包括支援センター

主査兼係長 村山 敏子

●保険給付係

係長 齊藤ひとみ

主任 熊谷 忍

●あさひ保育園(14人)

園長 阿部 幸子

主査(保育士) 大井 恵子

主査(保育士) 白田 清子

係長(保育士) 松田 敬子

副主査(保育士) 菊地 千代

副主査(保育士) 菅井 睦子

副主査(保育士) 熊谷三枝子

主任(保育士) 佐藤 弘美

主任(保育士) 小鹿 幸子

主任(保育士) 本間 真紀

保育士 村井美恵子

産業振興課(11人)

農 林 ☎(67) 2114
商工観光 ☎(67) 2113



課長
川口 幸男

主幹 菅井 和広



課長補佐 渡辺 政一

課長補佐 三浦 浩一

●農政係

係長 鈴木 勝

主任 佐竹 秀文

主任 海野 淳

主事 白田 恭子

●産業創造係

係長 早坂 健一

係長 佐藤 修

主任 岡崎 国宏

主事 岡崎 修

農業委員会(2人)

☎(67) 3307

事務局長(兼) 川口 幸男

主査兼係長 長岡 利光

業務員 佐竹 敏子

調理師 松田 篤子
調理師 鈴木 和子
調理師 渡辺真由美

●平成22年度のまちづくりと予算

建設水道課(10人)

建設 〇(67) 2115
水道 〇(67) 3570



課長 鈴木 清



事務長 安藤 一夫



総看護師長 長岡 浩子

●外来

看護師長 児珠はつえ
内科外来主任 若月 裕美
看護師 卯野留美子
看護師 関根 愛

●管理係

課長補佐 長岡 典己
課長補佐 阿部 弘美
係長(兼) 阿部 弘美
副主査 鈴木 滝子

●整備係

主査兼係長 鈴木 良浩
技師 海藤 繁幸

●水道係

主査兼係長 鈴木 俊治
主事 安藤 正人
技術士 今井 一成

町立病院(46人)

〇(67) 2125



院長(内科) 小林 達



副院長(外科) 櫻井 文明



副院長(内科) 高橋 潤



医 長(内科) 後藤 剛

看護師 布施 智子
看護師 近衛こずえ

薬局 今井 聡美
薬劑師 近衛こずえ

●X線室

技師長 葛浦 潤司
技師 梅津 睦

●療養室

作業療法士 清野 敏秀
理学療法士 伊藤 彩
作業療法士 阿部 忍

●検査室

技師 岡崎まゆみ
技師 和賀美耶子

●給食室

管理栄養士 村山 智美

●事務室

事務長補佐 佐藤 敏行

●庶務係

係長(兼) 佐藤 敏行
主任 阿部 容一

議会事務局(2人)

〇(67) 3306



事務局長 堀 幸雄

●庶務係

局長補佐 長岡 茂
係長(兼) 長岡 茂

監査委員会

〇(67) 3306

書記(兼) 堀 幸雄

書記(兼) 長岡 茂

出納室(2人)

〇(67) 3301



会計管理者 鈴木 康宏

室長(兼) 鈴木 康宏
出納係 齋藤 文子

教委・教育文化課(15人)

学校教育 〇(67) 3302
生涯学習 〇(67) 2118



課長 若月加代子



主幹 奥山 勝弘

●学校教育係

主査兼係長 長岡 勉
主事 伊藤 由佳

課長補佐 佐竹 壽美
課長補佐 花山 護
課長補佐 花山 芳文

●生涯学習係

事務局長(兼) 奥山 勝弘
係長 高橋さた子
副主査 伊藤 真一
主任 白田 征治
主事 和田 冴子
業務員 鈴木 敏一

●西部公民館(2人)

〇(67) 2208
館長(兼) 花山 芳文
業務員 白田 京子

●北部公民館

〇(68) 2111
主査兼館長 長岡 浩利
業務員 阿部 玲子

●西五百川小学校(3人)

〇(67) 2369
用務員 滝川 芳巳
調理師 安藤 孝子

●宮宿小学校(3人)

〇(67) 2306
用務員 長岡 元広
調理師 佐竹 幾子

●大谷小学校(3人)

〇(68) 2011
用務員 渡辺 忍
調理師 遠藤 房子
調理師 滝川 久恵

●朝日中学校(1人)

〇(67) 2123
用務員 阿部 歩

■新規採用者(4月1日付)



医師 後藤 剛
(山形市)



事務職員 佐竹 佑斗
(常盤)



事務職員 落合 朝巳
(大町)



看護師 長岡 由美
(山形市)

■退職者(3月31日付)

町立病院内科医長 金田 卓也
町立病院外来看護師長 佐藤久美子
さゆり保育園調理師 和田みよし
健康福祉課主事 長岡 季代



役場1階

総合窓口担当です

親切、丁寧に対応いたします。よろしくお願いいたします。

議会

町議会3月定例会 主な町政報告

3月4日から11日まで8日間の日程で、町議会3月定例会が開催されました。

主な議案としては、平成21年度各会計補正予算、平成22年度各会計当初予算のほか、学童保育施設として「朝日町放課後児童クラブ」設置条例や朝日町環境基本条例の設定など全33議案が審議され、全議案が全員賛成で可決されました。

また、一般質問には8人の議員が演壇に立ち、多岐にわたる分野について質問と主張が展開されました。

町政報告

■5年間で6億円超の削減効果 行財政「集中改革プラン」

行財政改革を目的として、平成17年度に策定した同プラン。21年度までの5年間の効果額は、6億3152万円で、目標額に対し100・7%の実績を上げた。

このほど、新たに平成22年度から26年度までを推進期間とする新たな計画を策定。今後効率的な行財政運営の推進を図る。

■新たな「定住促進ビジョン」を策定し、人口減に歯止め

平成21年度までの3年間を対象期間としていた現行の

「定住促進ビジョン」にかわって22年度から3年を期間とする新たな計画を策定した。

昨年10月から近年の人口動態の分析や施策の評価検証等を行ったところ、現行の計画は、一定の成果があったことから、今後も次期計画に基づく施策を着実に展開する。

■空家バンクを整備し、住宅ニーズに対応

昨年、区長さんの協力を得て、町内全地域の空き家調査を実施。その結果、約60戸の空き家を確認した。

特に町外在住の転入希望者等から問合せが多いことから、今後は家屋の状態を整理し「空き家バンク」の開設を進める。

■民家等の雪対策事業

地域提案型交付金事業の「雪対策事業」として20地区56件、136万円余を交付した。また、「除雪費支給事業」分については、24地区70件に対して交付し、地域ぐるみで雪対策を講じていただいた。

■安値で厳しい結果となったりんごの販売価格

昨年は全国的なデフレの影響で安売り傾向にあり、販売額は昨年よりやや増加したものの、平年と比較すると非常に厳しい結果となった。

■「花のやまがた推進協議会」を設立し、滞在型観光の受入れを強化

朝日町を含む村山地域7市

7町が観光圏を形成する「花のやまがた観光圏推進協議会」が2月4日に設立。村山

地域が一体となり滞在型観光の受入れを強化していくことを確認した。

■起業支援近況

昨年12月、クリスマス・年末商戦に向けて、町産業創造推進機構が仙台市在住者向けに鶏肉、豚肉の加工品などを提案。大きく販売額が伸びた商品もみられた。

また、仙台市内の花壇大手町における定期市については、4月から12月まで9回開催し、町内産の山菜、農産物、加工品を販売。回を重ねるごとに売上げを伸ばした。生産者の意欲も上がっており、来年度



道路脇を彩るスイセン（能中地内）



クロワッサンの店まつりでの販売促進
（仙台さくら野百貨店 3月24日～29日）

■X線テレビ装置を導入

昨年12月25日に購入。胃や腸の透視撮影だけでなく胸部や骨などの一般撮影も可能で、フィルムへの印刷も簡単なことから、夜間の救急時において医師自らが操作することもでき、待ち時間が短縮され迅速に対応できるようになるなど、より質の高い医療の提供が図られる。

■各小中学校で卒業式 慣れ親しんだ学び舎を巣立つ

平成21年度の小学校卒業生

は54人、中学校卒業生は82人。

それぞれ新たな希望を胸に、慣れ親しんだ学び舎をあとにした。

なお、4月7日には新小学1年生53人、新中学1年生55人がそれぞれの学校に入学した。

■朝日町小学校スキー記録会を開催

2月2日、朝日自然観スキー場を会場に開催。町内小学校5、6年生全員を対象として126人が回転競技に挑戦した。

この取り組みが、雪国の行事として定着することを願っている。

■22年度以降は町が運営主体に 放課後児童クラブ「りんごのクラブ」

これまで保護者による運営であったが、利用者の減少による経営難や保護者会の負担増などから、次年度より町が一貫した子育て支援の中で取り組むこととし、健康福祉課が業務を行う。

■金員 70,000 円

ふるさと納税として

宮城県仙台市 近藤 直洋 様 より

■金員 100,000 円

ふるさと納税として

千葉県八街市 遠藤 みえ子 様 より

■金員 30,000 円

ふるさと納税として

東京都大田区 松田 和司 様より

■ピアノ式（598,755 円相当）

あさひ保育園保育の向上のため

寒河江市 佐藤 幸子 様より



寄付採納報告

善意に感謝申し上げます

「知事と語ろう市町村ミーティング in 朝日町」

吉村美栄子山形県知事が朝日町を訪れ、町づくりの課題や県政全般について県民と意見の交換をおこなう「知事と語ろう市町村ミーティング in 朝日町」が、5月中旬に開催されます。

これは、知事が3年間かけて県内全市町村を回り、直接県民と対話するもので、特にテーマは設けず意見や質問に応じる一問一答形式で進行するものです。

この機会に、町民の皆様も知事と膝を交えながら、地域や生活の課題について話し合いませんか。入場は自由ですが、会場の都合もありますので事前にお申し込みください。もちろん、当日参加も大丈夫です。

◎日時 5月14日(金) 午後2時～午後4時

◎会場 「創遊館」 ホール

◎問合せ・申込み 政策推進課地域情報係

(☎ 67-2112)



吉村知事が朝日町に！ 参加者募る

デザインをシンプルにわかりやすく

町の案内看板をリニューアル

町では、このたび平成8年に作られた町の「サイン計画」の改訂を行いました。

改訂の大きなポイントは2

点。第5次朝日町総合発展計画のキーワードに掲げている「交流・観光」の推進と、従来よりも安価で設置しやすいものにする事です。基本的な考えをまとめるにあたって

は、まちづくりアドバイザーの元倉真琴東京芸術大学教授の助言・指導をいただきました。

具体的には、これまで「赤」「緑」「紫」の三色に分けていた色を、町のイメージカラーとも言える「赤」に統一。デザインもシンプルで分かりやすく、そして安価に設置できるようにしたものになっています。

このほど、新しいデザインの案内板を白倉橋周辺や大町の「蔵の広場」、「豊龍公園」、栄町の「種まき桜」などの観光スポットに設置。これらの看板が道しるべとなり、多くの来訪者が今後訪れることを期待しています。



本町地内に設置された看板

ため池百選に「馬神ため池と大谷の郷」さと

地域活性化の核として保全・活用を



スイレンを楽しむ保育園児 (H20. 6月)

大谷地区、玉ノ井地区の水田約150ヘクタールを潤しています。

近年は全国的に農家の減少・高齢化が進行し、ため池の維持管理が難しくなりつつあります。しかし、その多くはそれぞれの地域文化と深いかわりを持ち、周辺の里山と一体となって美しい景観を形成するなど、農業以外の面でも多様な役割を果たしています。

今回、農林水産省では「ため池百選」として選定することにより、ため池のそのような役割を広く周知するとともに、それらが今後、地域活性化の核として保全・活用されることを期待しています。

農林水産省の選定委員会が選ぶ「ため池百選」に大谷地区の「馬神ため池と大谷の郷」がこのほど選定されました。

これは大谷地区内にある馬神ダムと、明治から昭和期に作られた10個のため池の総称。中にはスイレンが咲き誇るため池も含まれており、これらを水源とした農業用水は

温故知新

この三月三十日、町史編集委員、編集委員、専門員の方々、そして多くの関係者の方々の永年に渡るご尽力により、「朝日町史下巻」を発刊することができました。平成十九年に上巻が発刊され、平成十二年度から始まった町史編集の事業が、ここ初めてでた完成のはこびとなりました。昭和四十六年から町史編集資料編の事業がスタートしてから実に約四十年という膨大な時間と努力とたゆまざる委員の方々のこ

努力を思う時、一言では言い尽くせない感謝と御礼の気持ちで一杯になります。その努力の結実、上下二巻の朝日町史は、正に私たち町民にとって未来永劫の宝となり、永くこの地に生き続ける後世の方々にも、きっと生きる指針、寄る辺となるものと信じております。それは、私が小学六年の春休みの事、友だちの一人が、薄茶色にけぶる一片の土器のかけらを大事そうに見せてく

支え合いの中にこそ 本当の心の通い合いがある

れました。その渦巻き模様の肉厚のかけらは何千年も前にこの地に住んでいた人々たちによって作られた縄文式土器でした。そんな途方もない昔の人たちが作った土器を手にした瞬間、古代人と異次元の中で時間と空間を共有しているような不思議な感覚に襲われました。私もなんとしても土器の破片を探してみたくなり、その友だちと二人で、最上川近く清水（すず）の畑の中を夢中

朝日町長 鈴木浩孝

になつて探した記憶が昨日のこのように思い出されて来ます。今、この地に生を受け、生き続ける私たち。何千年も何万年もの永い長い歴史の上にしっかりと土台となつて受け継がれてきた、大切な大切なことを、次の代、そしてまた次の代へとしっかりと伝えていかなければならないと強く感じたところでありました。

町道「西町草林線」(延長線)が開通

町道「西町草林線」の延長工事がこのほど完了し、町道「清水工業団地線」に至るまでの幅5・5m、延長約146mが開通しました。

西町区内の通称「草林地区」は、戦後、住宅不足の時代に「宮宿町」の事業で町営住宅地として整備された地区で、同路線はその後整備されたものの。これまでは袋小路で、緊急車両の進入や除雪等の面で



課題となっていただけに、沿線の方々にとっては念願の道路開通となりました。

上郷ダム等の恩恵 電源立地地域対策交付金

電源立地地域対策交付金とは、発電所などの施設がある市町村において、公共用施設整備などの事業に対し交付されるものです。上郷ダム等がある本町にも毎年交付され、平成21年度は1120万円の交付金で大谷地内の町道浦小路線側溝整備事業とさゆり保育園運営事業に取り組みました。

このうち、昨年9月に設置した大谷地内の消流雪パネル



は、この冬すでに大いに効果を発揮。排雪先の確保に頭を悩ませていた近隣住民の方々は大いに喜んでいました。



まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



2010 日本カヌーフリースタイル選手権大会 (4月4日/栗木沢カヌーランド)

ワールドカップの派遣選手選考会も兼ねる

4月4日、最上川の栗木沢カヌーランドでワールドカップ派遣選手選考会を兼ねた2010日本カヌーフリースタイル選手権大会(社団法人日本カヌー連盟主催)が開催されました。

カヌーの「フリースタイル」とは、急流の中で2m前後のカヤック(艇)を操る競技。栗木沢カヌーランドでは、川底に広がる独特の地形が競技に最適な波を生み、愛

好者によれば「日本全体でも、最も安定感のある波ができる場所」と言われています。

競技は45秒間急流の中で様々な技を繰り出し、その得点を競うもの。昨年の世界選手権(スイス)出場者をはじめ、日本を代表する選手35人がエントリーしました。

選手たちは、雪解け水の冷たさをもとめせず、果敢に急流へ突入。カヤックごとタテに回転する



など難易度の高い技が繰り出されると、会場からは大きな拍手と歓声が上がっていました。

ゴールデンウィークの5月3日、カヌーに乗って最上川の自然散策はいかが？

日本フリースタイルカヤック協会が栗木沢カヌーランドを会場に体験会を開催します。小学生以上が対象で、参加費は1,000円。申込み、問合せはフリースタイルカヤック協会事務局 090-8117-5464 (谷むむ)、もしくは協会HP (<http://freestylekayak.org/>) をご覧ください。

りんご温泉がリニューアルオープン (4月1日/りんご温泉)



常連客らが新しい湯の感触を楽しむ

昨年度、新源泉の掘削を行ったりんご温泉が4月1日リニューアルオープンし、新源泉からの給湯が開始されました。

リニューアル式には鈴木町長やりんご温泉を運営する「(有) 地

球耕望」の今田正夫社長など関係者約40人が出席。テープカットなどのセレモニーが行われ、その後営業が開始されると、待ちわびた方々が次々に訪れ、新源泉からの湯の感触を楽しんでいました。

今回、源泉が変わったことにより、成分も「低張性弱アルカリ性高温泉」から「塩化物強塩温泉」に変化しています。新しいお湯は塩分が強く、独特のにおいがあるのが特徴。従来の「つるつる・すべすべ感」は少なくなったものの、引き続き、体の芯から温かくなるお湯で、色は多少茶色がかった透明です。

リニューアルに合わせ、約2年間休止していた露天風呂も営業を再開していますので、ぜひご利用ください。



■平成22年(2010年)
3月1日～3月31日 届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
松原安藤	愛音 ^{あのん}	女	峻・香
大谷七堀	明凜 ^{あかりん}	女	幹樹・洋子
栄町武田	桃花 ^{ももか}	女	貴浩・美紀
緑町柴田	琉生 ^{るいせい}	女	広幸・淳子



おしあわせに

近衛祐哉 (大隅)		和田詩織 (茨城県)
渡邊裕俊 (古楨)		阿部友美 (河北町)
江目将高 (河北町)		渡邊美佳 (送橋)
柴田大輔 (大滝)		會田かおり (山形市)
大野智永 (山形市)		村山弘美 (大谷七)
杉政孝一 (緑町)		向梨恵 (松程)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
四ノ沢	阿部みほ子	秀一
西町	白田昭義	淳
太郎一平	長岡清美	和彦
大町	菅井久子	本人
本町	松田たまゑ	昌弘
前田沢	鈴木コウ	本人
大谷三	今井くによ	賢一
大谷五	八鍬たけ	長岡美智雄
杉山	渡邊みつゑ	勲
下芦沢	鈴木竹次郎	本人
	大滝カヨ子	勝雄

人口と世帯数

●平成22年3月31日現在

人口	8,177人 (-30)
男	4,050人 (-16)
女	4,127人 (-14)
世帯数	2,527世帯 (-4)
	() 内前月比

——— 3月中の異動 ———			
出生	4人	転入	24人
死亡	10人	転出	49人

大泉逸郎さんがふれあい荘を訪問

(3月30日／ふれあい荘)

お年寄りの方々へ歌のプレゼント

3月30日、河北町在住の演歌歌手大泉逸郎さんがボランティアでふれあい荘を訪問し、入荘者とその家族ら約100人が約1時間の公演を楽しみました。

大泉さんはヒット曲「孫」や「最上川舟唄」、「花笠音頭」など10数曲を披露。曲の合間には「戦前戦後の厳しい世の中を生き抜いてこられた皆さんのおかげで今の社会がある。今後もそのことに自信を持って末永く人生を楽しんでください」と語りかけるなど、入荘者と楽しく交流しました。



入荘者と交流する大泉逸郎さん

今井美津子さんがパッチワークで朝日ふれあいスポーツクラブのロゴマークを製作

会のPRや会員の拡大に一役



町連合婦人会の女性文化教室でパッチワーク講師を務める今井美津子さん(新宿)がこのほど始まった総合型スポーツクラブ「朝日ふれあいスポーツクラブ」のロゴマークを製作し、町教育委員会に贈りました。

「会のPRや会員の拡大に役立てれば幸いです」と語る今井さん。創遊館内の教育委員会事務室に飾ってありますのでぜひ一度ご覧ください。



各種大会の成績

第4回フットサルde交流会(3月14日／西部公民館／参加11チーム)

①モンデミロFC Aチーム(佐藤高章主将) ②モンデドリーム(安藤正人主将) ③オニガシマス(前田司主将)

わたしの作品

第51回こども県展 入選作品



「なかよし」

渡辺 りりか さん
(宮宿小2年/大町)



「おばけきゅうり
いっぱいとれた」

志藤 紀洋 くん
(大谷小3年/川通)



「もう少しで
曲がれそう」

伊藤 留佳 さん
(西五百川小5年/能中)



「朝日町の昔ばなす」を出版 語りの会「つむぎ」

町内外で昔語り活動を展開している「語りの会つむぎ（成原千枝代表）」では、このほど会の発足10周年を記念して、「朝日町の昔ばなす」を出版しました。

この会は町が行った人材育成事業「朝日町F21プロジェクト」で「民話の収集・研究」に取り組んだ方々を中心として、平成10年に結成。今回出版した本は、当時聞き取り調査を元にまとめた4冊の「朝日町の昔話集」の中から20話を集めたものです。

「幼児や小学生にぜひ読み聞かせしてほしい一冊」と語る成原さん。興味のある方は、☎67-2636成原さんまでお問い合わせください。

春夏秋冬

編集後記

父親としても楽しみな
子育て支援拠点施設

ですが、今では元気に「バイバイ」をするようになりました。一抹の寂しさを感じる今日この頃ですが、それは成長の証。その早さには日々驚かされ、同じキャリアの自分はいつも励まされてばかりです。

今回オープンした子育て支援拠点施設。完成までにご協力いただいた方々に対し心から感謝申し上げます。父親としても今後が楽しみです。

(佐久間 淳)

また1年、広報を担当することになりました。4年目となりますが、改めてよろしくお願い申し上げます。

私事ですが、我が家には2歳半になる子どもがいます。広報へ異動して約半年後に生まれたことから、これまで私の「広報キャリア」とはほぼ歩みをともしてきました。

少し前は私が自宅を出ようとする、駄々をこねることが多かったの